

みほはごろも おりどちく
三保羽衣・折戸地区

1. 概要

本地区は、静岡市南東の三保半島に位置し、羽衣伝説に代表される「名勝三保松原」を有する全国的にも有名な観光地であるとともに、東海大学をはじめとする教育施設や福祉・コミュニティ施設が集中している地区であるが、住工が混在し、幹線道路の整備等都市施設の整備が遅れている地域であった。

このため、土地区画整理事業をベースとして、道路ネットワークの整備や都市環境の改善を図り、豊富な観光・自然資源を有効活用し、併せて地域の生活環境や安全性の向上のために関連事業の整備を進めていくものである。

2. 目標

○大目標：海辺や緑に恵まれた良好な生活環境の形成と、羽衣伝説や特産物・富士山の眺望に恵まれた観光地としての活性化

- ・目標1：誰もが安心・快適に暮らせる緑豊かな交流居住空間の形成
- ・目標2：景観的資源を活かしたまちの再生

3. 計画内容

所在地：静岡^{しずおか}県静岡市
 施行者：静岡市
 面積：230 ha
 全体事業費：約61億円（交付限度額：約24億円）
 計画期間：平成16年度～平成25年度
 交付期間：平成16年度～平成20年度
 H18事業費：10億円（うち国費 5.1億円）
 H19事業費：15億円（うち国費 5.4億円）
 H20以降残事業費：約26億円
 H19末進捗率（予定）：約56%

4. 主な事業計画

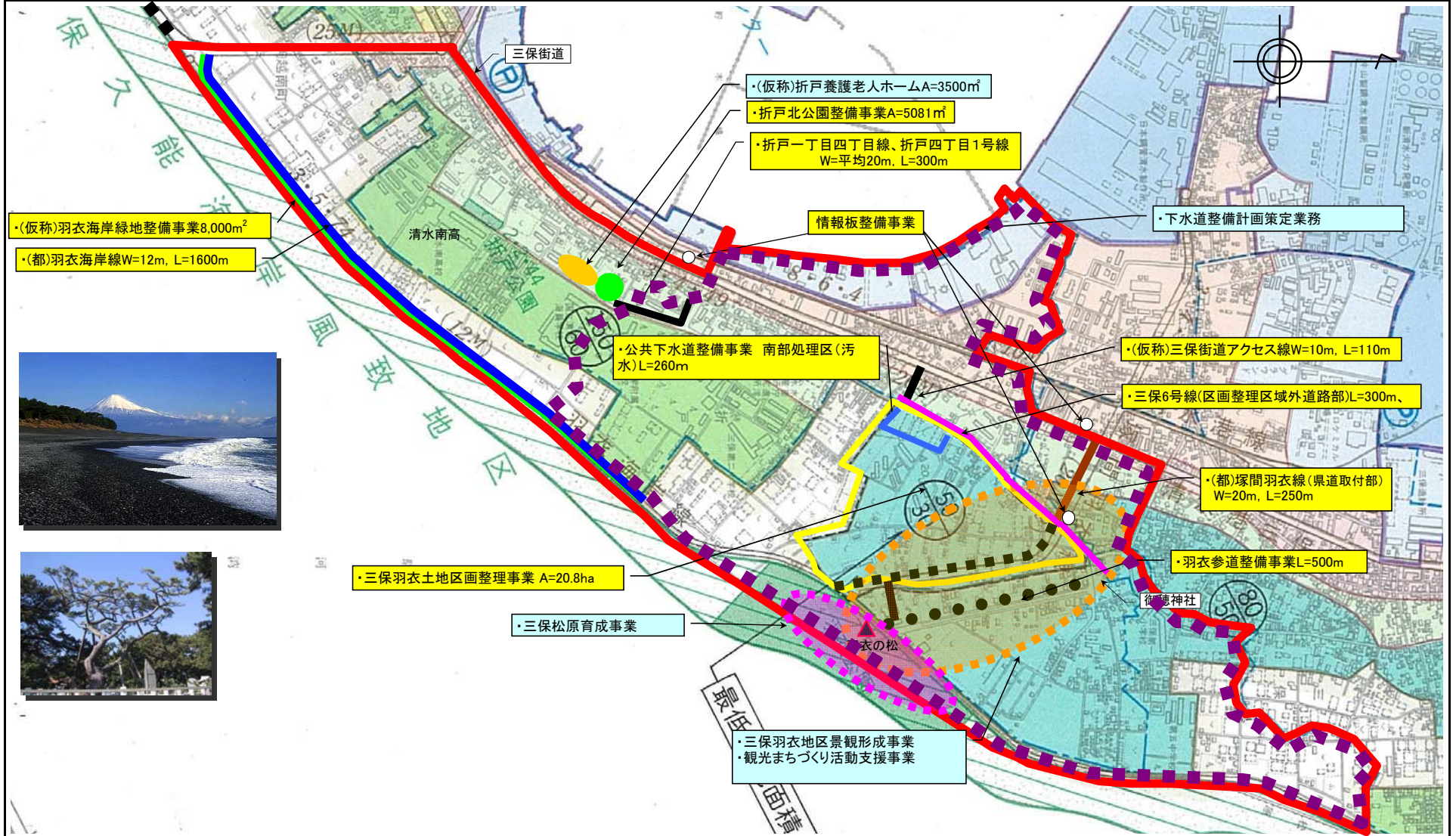
- ・基幹事業：道路5路線、公園1箇所、区画整理事業等
- ・提案事業：養護老人ホーム整備、観光まちづくり支援、景観形成事業等

5. 目標を定量化する指標

- ・観光地入れ込み客数：62万人（平成16年度）→ 80万人（平成20年度）
- ・居住人口の増加：15,444人（平成12年度）→ 15,944人（平成20年度）
- ・円滑な交通流動：混雑度（休日2.03・平日2.40）
 休日ピーク時旅行速度 9.3km/h（平成11年度）
 ↓
 混雑度（休日1.10・平日1.40）
 休日ピーク時旅行速度 30km/h（平成20年度）
- ・住民（折戸、三保地区）：指数100（平成17年度）→120（平成20年度）
 の生活環境満足度

三保羽衣・折戸地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標 「海辺や緑に恵まれた良好な生活環境の形成と、羽衣伝説や特産物・富士山の眺望に恵まれた観光地としての活性化」 ①誰もが安心・快適に暮らせる緑豊かな交流居住空間の形成 ②歴史・景観的資源を活かしたまちの再生	代表的な指標	観光地入れ込み客数の増加 (人)	620,000 (H16年度)	→	800,000 (H20年度)
		区画整理地区を含む居住人口の増加 (人)	15,444 (H12年度)	→	15,944 (H20(H17)年度)
		円滑な交通流動(混雑度等の軽減) (m)	混雑度 休日2.03, 平日2.40 休日ピーク時旅行速度9.3km/h (H11年度)	→	混雑度 休日1.10, 平日1.40 休日ピーク時旅行速度30km/h (H20(H16)年度)
		住民(折戸、三保)の生活環境満足度 (指数)	100 (H17年度)	→	120 (H20年度)



1:15,000



まちづくり交付金 モニタリングシート
三保羽衣・折戸地区

平成20年2月

静岡県静岡市

様式3 モニタリング結果のまとめ

都道府県名	静岡県	市町村名	静岡市	地区名	三保羽衣・折戸地区
計画期間	平成16年度～平成20年度	まちづくり交付金交付期間	平成16年度～平成20年度		
モニタリング実施時期	平成19年10月				

1)事業の進捗状況	著しい遅れのある事業の有無		同左事業名		
	● なし	あり			

2)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況	指標		単位	達成度 (モニタリング時)	達成見込みの有無		達成見込みなしの場合の対応案
	指標1	指標2			あり	なし	
	指標1	「羽衣の松」への観光地入れ込み客数の増加	人	×		○	指標を変更して三保松原だけの観光交流客だけでなく、三保地区（三保半島）全体として評価をする指標に変更する。
	指標2	土地区画整理事業区域を含む居住人口の増加	人	×		○	まちづくり交付金事業以外の影響要因が多くて評価ができないため、指標から外し、区画整理区域内の生活道路の整備などによる満足度等で評価する。
	指標3	円滑な交通流動（混雑度の軽減等）	km	△		○	まちづくり交付金事業による道路整備が進んでいない状況で、混雑度が悪化し、逆に旅行速度は改善されており、当初の指標では適正に効果を判断できないため、生活道路等の整備に伴う満足度による指標に変更する。
	指標4	住民（折戸、三保地区）の生活環境満足度	指数			○	

3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		数値 (モニタリング時)		効果発現の要因 総合所見	
	その他の数値指標1			基準年度					
	その他の数値指標1	三保地区（三保半島全体）の観光地入れ込み客数の増加	人	865,802	H16	963,488		新たに設立した三保羽衣地区まちづくり協議会や自治会、観光関係団体の協力で、三保半島全体の観光地としての活性化を図るため、まちづくり交付金事業新聞や観光パンフの作成等によるPRやイベント等に協力している。	

4)定量的に表現できない定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で新たに設立した三保羽衣地区まちづくり協議会により具体的な事業内容の検討や個別事業に関する検討会議の開催、事業の推進を図っており、また「まちづくり交付金事業新聞」や観光パンフレットの作成、活性イベント等の実施により地区全体の住民や観光者等に広くPRしており、事業等の周知が図られ、事業に対する理解・協力がまちづくりに関する住民参加等の意識の向上が図られた。 ・これまで、三保半島には幹線道路が1本（県道、暫定2車線）しかなく通勤時や行楽シーズンは慢性渋滞となっており、また下水道、公園などの都市施設や観光地としての整備が遅れていたが、具体的な整備が進みだして、地区住民の期待値が大幅に上がっている。また土地区画整理区域内においても整備が始まり、狭小な生活道路や家の老朽化、高齢化に伴う災害等の不安が解消されてきている。 ・本事業の実施に伴い、庁内の連絡体制が着手前に比べて緊密になり、また地元の新たな協議会の設置などにより住民の意見が反映され、地区全体の整備に関する推進体制ができた。
------------------------	---

5)実施過程の評価	評価項目	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
	住民参加プロセス	まちづくり交付金事業新聞を作成して地区内の全戸に配布し、事業内容や進捗状況等の情報提供を行うと共に、三保・折戸地区の全戸へのアンケート調査により、満足度の確認と個別意見を収集して事業に反映。	○ 予定どおり実施できた	○ 予定していたが実施した	
持続的なまちづくり	地元団体代表者等による三保羽衣地区まちづくり協議会を設置し、協議会が個々の課題を検討する検討会議を開催。事業実施に向けた地元意見の取りまとめや事業の推進に寄与。	○ 予定どおり構築できた	○ 予定していたが構築した	○ 予定したがモニタリング時点では構築していない	引き続き地元への情報提供と住民参加を図りながら、現在のまちづくり協議会を必要に応じて新たな整備計画に合わせた自主的なまちづくり検討組織に拡大・発展させ、継続して三保半島全体のまちづくりを検討し推進していく組織とすることを旨とする。

6)モニタリングの所見	順調	コメント (改善点の概要)	都市再生整備計画の変更等に伴い、数値目標の達成が難しいものがあるため、指標の変更による数値目標の適正化を図ると共に、事業の推進を図り、平成20年度までに成果をあげた上で、さらに平成21年度から25年度までの2期目の新たな整備計画を策定して、当初予定していた整備効果の実現を図るべきである。引き続き地元への情報提供と住民参加を図りながら、現在のまちづくり協議会を新たな整備計画に合わせた自主的なまちづくり検討組織に拡大・発展させ、更に地域住民との協働による三保半島全体のまちづくりを推進していく必要がある。
	● 計画・事業の進め方の改善が必要		